記者発表資料

平成２７年１２月１日
東北地方整備局
秋田河川国道事務所

日本海東北自動車道　象潟（きさかた）ＩＣ～金浦（このうら）ＩＣ間の開通１ヶ月の交通状況等

国土交通省が事業を進めてきました、象潟仁賀保道路の象潟（きさかた）ＩＣ～金浦（このうら）ＩＣが平成２７年１０月１８日（日）に開通し、全線開通しました。

今回、開通後の交通状況等を取りまとめましたのでお知らせします。

■ 国道7号の交通量が約2割減少

・開通区間に約３，９００台/日が転換し、並行国道７号の交通が約２割減少。
・既開通区間も約９００台/日が転換し、並行国道７号の交通が約１割減少。

■ 観光地へのアクセス性向上

・秋田空港から鳥海ブルーラインまでの所要時間は、今回の開通により約７分短縮。象潟仁賀保道路の全線開通により約１３分短縮

＜ 秋田空港～鳥海ブルーラインまでの所要時間の変化 ＞

	象潟仁賀保道路 開通前	金浦IC～仁賀保IC 部分開通時	全線開通時
所要時間	７３分	６７分	６０分
短縮時間		６分短縮	さらに７分短縮

発表記者会：秋田県政記者会

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所
電話 018-823-4167(代表)

副所長（道路担当）　佐野（さの）　智樹（ともき）（内線205）
調 査 第 二 課 長　戸島（としま）　孝彦（たかひこ）（内線451）

【開通1ヶ月後】日本海東北自動車道

象潟仁賀保道路が開通して

（平成27年10月18日　象潟IC～金浦IC間開通）

①国道7号の交通量が約2割減少

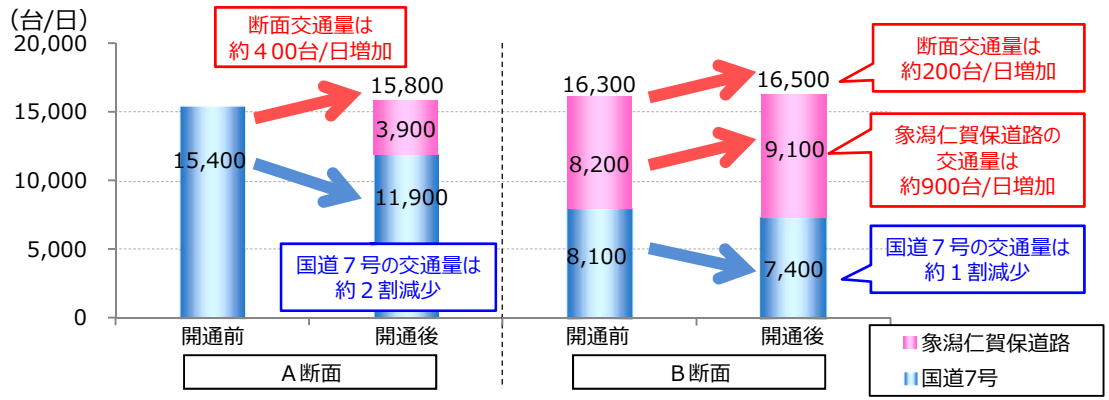
②観光地へのアクセス性向上



所要時間算出
開　通　前：H24プローブデータから算出（H24.10.1～10.26）
部分開通後：H26プローブデータから算出（H26.10.1～10.31）
全線開通後：H26プローブデータ（H26.10.1～10.31）及び
旅行速度調査結果（H27.10.27）より算出。

・開通区間に約3,900台/日が転換し、並行国道7号の交通量は約2割減少。
・既開通区間も約900台/日が転換し、並行国道7号の交通量は約1割減少。

▼ 交通量の変化



※交通量観測日　開通前：H26.10.22（水）　開通後：H27.10.27（火）

・秋田空港から鳥海ブルーラインまでの所要時間は、今回の開通により約7分短縮。象潟仁賀保道路の全線開通により約13分短縮。

秋田空港～鳥海ブルーラインまでの所要時間の変化

象潟仁賀保道路 開通前 ７３分 → 6分短縮 → 金浦～仁賀保 部分開通後 ６７分 → 7分短縮 → 象潟仁賀保道路 全線開通後 ６０分

VOICE

・秋田空港から中島台、元滝伏流水、鳥海山鉾立等の観光地までのアクセスが大幅に向上します。これをどんどんPRして、海外のお客様を呼び込みたい。
（にかほ市 観光案内人協会会長）

・象潟IC～金浦ICを利用したことにより、中島台レクリエーションの森での滞在時間が30分程度増えました。（H27.10　観光客アンケート）